

令和4年度 社会福祉法人外房 事業報告

☆法人基本理念 「存在感のある生活」

☆法人基本方針 外房を“家”とし、お客様を“介護される人ではなく共に生活する人” 家族の一員として気遣い、思いやりの気持ちを持って日々接することを目標とし、お客様に穏やかな日々が提供できる施設として職員一同で心がけることを基本方針とする。

☆事業/総評 世界的なパンデミックを起こした新型コロナウイルスの蔓延が、令和3年度においては、感染力の強いオミクロン株に変異したことで、令和4年度においても昨年同様に、コロナ対策が施設運営の重要なキーワードとなったことは、厭わない事実となっております。

「外房」においても、前年に引き続き「出勤時の体温測定」「手洗い」「うがい」「マスクの二重着用」「外出届けの提出」の責務や「三密を避けた会議」「週2回の抗原検査の実施」「家族の学校や職場」での感染状況チェックなど様々な職員対策を実施してまいりました。また、お客様の受け入れについても、昨年のクラスター対策を踏まえ、ショートステイ外房・デイサービス外房の営業形態や特養における管理体制も強化することにより、近隣の同種施設や医療機関がクラスター対策に苦慮する状況にあっても“外房”においては、お客様からの陽性者を出すこともなく、安全な施設として、一定の評価を頂いたところではありますが、その結果、お客様の受け入れ抑制により、稼働率の低下を招き事業収益においては、マイナス計上となった事は、遺憾に堪えません。

また、事業支出においては、2022年2月に、ロシアによるウクライナ戦争が勃発し、コロナ禍における社会情勢の変化に、更なる追い打ちがかかる中で、エネルギーや食料等における値上げや品不足が発生し、外房の食事の提供においても、お客様に一部

負担をお願いせざるを得ない状況が発生しました。

このような状況下ではございましたが、新たな役員体制のもと長年懸案となっておりました、外房施設の増床事業に取組み、

「第8期御宿町介護保険事業計画」に基づく、「御宿町介護老人福祉施設整備・運営事業者応募」に、令和4年9月に応募申込書を御宿町に提出すると共に、千葉県知事宛に「令和5年度老人福祉整備要望書」を提出致しました。

御宿町並びに千葉県のいずれのヒアリングや審査会においても「外房」としての地域性や必要性を説明したことにより、それぞれのセクションから申請承認を頂きましたので、同年11月に、増床事業補助金の本協議となる「令和5年度老人福祉整備協議書」を自前で提出するに至りました。

本協議においても、76項目という千葉県高齢者福祉課からの質疑を頂きましたが、事務努力により年度末には、県担当課から令和5年度6月頃には千葉県内示により、補助金交付申請のルートが開ける状況見込みとの情報を得ております。

事業計画における単年度事業目標としては、コロナ禍や戦争という大きな社会変動の中ではありましたが、順調に推移し、職員環境においても一定の成果を見だしたところではございますが、事業収入を介護保険に委ねる法人組織の運営としては、非常に厳しい状況下にあることは、歪めない事実となっております。

来年度の課題が山積みする中ではありますが、増床事業の早期実現により、職員の働く環境の整備やご利用者の安全対策を図り、安心して働くことの出来る職場づくりとコンプライアンスを重視した運営管理を行政と一体となって推進し、社会福祉法人として“住み良い福祉の町づくり”に貢献する「外房」を展開してまいります。

<法人事業の実施状況>

(1) 理事会の開催

理事定数：6名 監事定数：2名

開催時期	議事提案承認	出席者
6月8日	令和4年度第1回（開催） <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告及び決算報告 ・指定通所介護事業所運営規程の改正について ・令和4年度事業の状況について ・「外房」定款11条及び第12条の規定による評議員会の招集（案）及び議案について ・その他報告連絡事項 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 1名
7月12日	令和4年度第2回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 増床事業申請及び計画（案）について ・その他報告連絡事項 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 2名
8月31日	令和4年度第3回 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 増床事業申請及び計画（案）について（御宿町特別養護老人ホーム整備事業公募申請） 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 1名
11月1日	令和3年度第4回 <ul style="list-style-type: none"> ・パートタイマー就業規則改正（案）について ・育児・介護休業等に関する規則改正（案）について ・定款第12条による評議員会招集について ・令和5年度 老人福祉施設整備事業について ・町道第3090号線の付替え及び払い下げについて 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 2名
令和5年 3月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度資金収支補正予算（案） ・令和5年度事業計画（案） ・令和5年度資金収支予算（案） ・定款の改定（案）について ・定款第38条による評議員の招集について ・経理規程の改定（案）について ・介護予防通所介護事業所運営規程の改定（案）について ・通所介護事業所運営規程の改定（案）について ・居宅介護支援事業運営規程の制定（案）について ・理事長の職務執行状況報告 その他報告連絡事項 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 2名

(2) 評議員会の開催

委員定数：7名

開催時期	議事提案承認	出席者
6月28日	・令和3年度事業報告 ・令和3年度決算報告 ・その他報告連絡事項	評議員出席数 5名 監事 1名
11月1日	・令和5年度 老人福祉施設整備事業 ・御宿町 町道3090号線の付替え及び払い下げ について	評議員出席数 5名

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

委員定数：3名

開催次期	議事提案予定	出席予定者
	開催なし	

(4) 監査

- ①内部経理監査 職務担当理事1名 実施数：4回／年
- ②監事監査 監事出席者数2名 実施数：1回（5月）
- ③社会福祉法人指導監査
千葉県（高齢者福祉課）実施数：1回

＜令和4年度委員会及び部署別会議等の報告＞

☆総 評

令和4年度においては、新型コロナウイルスが、感染力の強いオミクロン株に変異したことにより、委員会や部署別会議等の運営においては、「新型コロナ感染防止」という命題を前提とした会議運営や招集方法を前年度と同様に行い、「リモート研修」や「三密対策」「会議時間の短縮」等の対策を責務としての会議を開催してまいりました。

今後も続くことが想定されるコロナ禍では、従来とは価値観や認識が異なり、社会的な構造も大きく変化が見込まれ、感染症や防災対策、お客様を抱える課題や職員の体制と、施設の運営管理等の様々な課題や想定外の事案が発生する事態では、緊急的な対策対処と速やかな会議決定が望まれるところとなります。

当施設においては、各部署のリーダー、主任による「リーダー会議」と、各部主任、施設長を加えた「主任会議」を基軸に施設運営や職員管理を展開しております。

「リーダー会議」においては、幅広く連絡調整を行う伝達方式への体制を更に整備し、「主任会議」での問題解決に向けた主旨選択により、安全対策にむけた即効性のある整理を行い、有意義な会議形態や施設運営の健全性の確立に向けた取組みを実践して参りました。

更に、重要な事項については、「管理者会議」や「理事会」へステップアップした、厚みのある協議審議を行う体制を構築しつつあります。

また、令和4年度から新たに想定外の気象変動や新型のウイルス感染から、施設を利用されるお客様を守るために、「緊急対策ディフェンスチーム」を編成し、職員間緊急連絡網と共に実践チームにより、安全な施設体制を構築するための試行を実施しております。

今後も従前に引き続き、コンプライアンスを重視した運営管理体制や様々な福祉事業への参画を積極的に実践し、地域の皆様や行政と共に“住み良い福祉の町づくり”に貢献する事業を展開して参ります。

<会議・委員会の実施状況>

☆印は、新規取組み

会議：委員会名		管理者会議	
主旨／目的			
「外房」運営に係る重要事項及び理事長・施設長の専決事項について協議し方針を定めると共に理事会や評議員会への提出議案等の調整を行う執行機関。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 経営に関する協議や施設整備に係る内容協議を実施。 * 理事会や評議員会への議案や内部規定について協議。 			
実績数	委員数	備考	
1回	2名	理事長・施設長	

会議：委員会名		主任会議	
主旨／目的			
「外房」運営に係る全ての事務協議等を実施し、管理者会議等への諮問・答申を行う。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 経営に関する協議や施設整備に係る内容協議を実施。 * リーダー会議等へ協議案件の連絡調整を検討。 * 新型コロナウイルス感染拡大防止対策への対策協議の実施。 * 人事考課や職員管理に関する協議（☆新規） 			
実績数	委員数	備考	
20回	4名	施設長・各部主任	

会議：委員会名		リーダー会議	
主旨／目的			
主任会議への諮問・答申等と共に施設内の職員との連絡調整を行う事を目的とする。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 各班及びユニット等施設内の意見調整を実施。 * 主任会議等の報告及び連絡調整を図った。 * 職員の勤務体制や感染対策協議を実施。（コロナ感染防止☆新規） * 職員の人事考課や介護職員の勤務体制検討。（職員管理☆新規） 			
実績数	委員数	備考	
13回	11名各部委員	当初計画1回／月（リーダー不在時＝サブリーダー）	

会議：委員会名	経営マネージメント委員会	
主旨／目的		
「外房」の経営に関する調査・協議を実施すると共に対外的な事業展開に際し、意見調整を行う。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> *稼働率や今後の方針について協議。 *千葉県監査及び決算監査時会計状況整理。(児島会計精算☆新規) ※主任会議にて対応同時実施。 		
実績数	委員数	備考
1回	4名	施設長・各部主任：当初計画2回/年

会議：委員会名	入所判定委員会	
主旨／目的		
入所に関する基準を明確にし、入所決定の透明性・公平性の確保を図り、入所の円滑な実施に資する。また、入所判定会議への回答及び答申を行う介護職員を中心とした委員会。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> *入所希望者の入所後の環境整備等を協議。 *入所者の意向確認や現状調査(面談含)を実施。 *入退所時の職員対応のマニュアルを確認。 *入所判定審査前に意見調査(アンケート)を実施(☆新規) 		
実績数	委員数	備考
15回	9名各部委員	当初計画1回/月

会議：委員会名	感染症対策委員会	
主旨／目的		
感染症及び食中毒対策を多職種連携により協同して予防及び発生時の対策を行い安全・安心な施設づくりを実施する。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> *風邪やインフルエンザ等の感染予防及び実務対応を協議実施。 *嘱託医と連携し、予防対策や感染対策を行った。 *産業医と共に新型コロナウイルス感染防止対策を実践。(☆新規) *外房独自の新型コロナウイルス感染防止対策を検討。(☆新規) *C型肝炎者への日常対策を改正(☆新規) 		
実績数	委員数	備考
4回	8名各部委員	当初計画3回/年.他

会議：委員会名		研修委員会
主旨／目的 お客様が安全・安心な生活を送るため、仕事の進め方や知識・技能の習得を図る。		
協議実績 *介護ホット導入に関する研修を実施。(☆新規) *介護リスク(ヒアット等)に係る研修をリスクマネジメント委員会へ依頼。(☆新規) *身体拘束に係る研修を身体拘束委員会へ依頼(☆新規)。 *「排泄支援・見守り・コミュニケーション」に係る研修実施。(☆新規)		
実績数 4回	委員数 7名各部委員	備考 当初計画3回/年

会議：委員会名		給食会議
主旨／目的 お客様の食の安全を図ると共に食を通じて生活の質を高めることにより安心した施設生活を創造する。		
協議実績 *入所者に係る栄養評価の実施。 *食事に関する内容及び栄養に関する協議を実施。 *委託業者と連携した職場管理や衛生管理を実施。 *給食施設巡回指導(夷隅保健所)		
実績数 12回	委員数 6名各部委員	備考 当初計画1回/月(富士産業同席)

会議：委員会名		身体拘束廃止委員会
主旨／目的 身体上、精神行動上さまざまなリスクを抱えたお客様が安全・安心な生活が送れるために、身体的な虐待(身体拘束)及び心理的な虐待(言葉の暴力)等の行為の禁止を図る。		
協議実績 *新規のお客様の状況把握や他の施設での対応を参考にお客様に見合った対応を協議。 *特養のお客様の認知度に応じたケース検討を実施。 *入所者に係る評価・対応を検討実践		
実績数 4回	委員数 12名各部委員	備考 当初計画1回/3ヶ月

会議：委員会名		安全衛生管理委員会
主旨／目的		
<p>職員の労働災害の防止及び健康の保持増進に寄与するため、職場における安全と健康の確保、快適な職場環境の推進に資する。</p>		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> * 入所者の「看取り期」の状態確認を実施。 * 施設内の安全対策のための巡視実践。 * 職員のストレスチェックや健康相談を実施。 * 新型コロナウイルス対策として産業医から防止対策を伝達。(☆新規) 		
実績数	委員数	備考
12回	名各部委員	当初計画1回/月：木元産業医管理指導

会議：委員会名		排泄委員会
主旨／目的		
<p>自立した日常生活を送る上で排泄のコントロールは不可欠なものであり、排泄支援を人間形成を育むものとして取り組むと共に効率的な作業の在り方を研究する。</p>		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> * オムツの機能性や使い方について協議検討。 * 排泄の効率性等を協議検討。 * 排泄に於ける職員向け実践指導を実施。(エンチャームアドバイザー☆新規) 		
実績数	委員数	備考
4回	8名各部委員	当初計画3回/年

会議：委員会名		褥瘡対策委員会
主旨／目的		
<p>褥瘡は活動性の低下と共に発症し、様々な感染症の温床となることから早期発見及び予防治療に多職種が協働して当たる事が重要な為連絡調整及び実務連携を行う。</p>		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> * 褥瘡者の経過報告及び処置内容検討協議。 * 実例に対して多種連携で対応。 * 具体例に対する予防・治療行為を協議検討。 * ケアプラン会議と同時開催することで会議の効率性を推進。 		
実績数	委員数	備考
13回	8名各部委員	当初計画1回/月：ケアプラン同時開催実施

会議：委員会名		環境衛生委員会（組織変更：会議→委員会）	
主旨／目的 毎月第三日曜日を「環境整備の日」と位置づけ、施設の環境美化やお客様の日常生活の環境整備を行い、施設の「安全・安心性」を高める。 （日程変更：第一木曜日→第三日曜日. 御宿「町民清掃の日」）			
協議実績 *施設内の樹木や花の植栽整備を実施。 *「環境整備の日」に施設管内放送による啓発活動。 *環境整備に係る支援員班を設置し、日常業務の連携を実践。 *久保区「古紙回収」に協力。（毎月第三日曜日）（☆新規）			
実績数	委員数	備考	
1回	6名各部委員	当初計画2回/年	

会議：委員会名		防災委員会	
主旨／目的 入所や利用のお客様の安全を確保するため、防災対策や避難訓練を実施し、災害の未然防止や対策に努める。			
協議実績 *お客様と職員で協力した防災訓練（3回/年）を実施。 *職員の救急法等の訓練（4回/年）を実施。 *防災訓練後に訓練の反省会を実施。（☆新規） *台風シーズンに向けた「秋の防災対策」を協議検討。（☆新規）			
実績数	委員数	備考	
7回	11名各部委員	当初計画3回/年（6. 9. 11月）	

会議：委員会名		人事考課委員会	
主旨／目的 職員や非常勤職員の処遇改善事項について定量的な要件を課すことやキャリア・パスに関する条件の整理等、適切な人事考課を実施するための取り組みを研究・検討する。			
協議実績 *介護特別手当等の支給資料として整理実施。 *主任会議及びリーダー会議にて検討協議。			
実績数	委員数	備考	
3回	4名	施設長・各部主任（主任会議同時開催）	

会議：委員会名		事故安全対策委員会	
主旨／目的			
<p>施設利用者のお客様に認知症や車椅子利用で介護度の高いお客様が増加したことにより、不慮の事故や行き違いによるお客様とのトラブル等近年多く見られる事案の緊急的な対策を行うとともに補償関係についても対応する。</p>			
協議実績			
<p>*コンプライアンスを重視し、安全な施設運営を行う協議を実施。 *主任会議にて、具体的対応検討協議。 ※令和4年度検討案件 1件（デイベース転倒事故対応）</p>			
実績数	委員数	備考	
2回	4名	必要に応じ実施。施設長・各部主任	

会議：委員会名		リスクマネジメント委員会	
主旨／目的			
<p>ヒヤリハットに関する対応や職員間での事故対策等を事案ごとに介護現場に則した検討・研究を行い、安全な施設づくりを目指す。</p>			
協議実績			
<p>*多職種による介護現場の連携を図る為の意見交換を実施。 *ヒヤリハットの実例に基づく対策を検証協議。 *「誤薬研修」の成果確認（☆新規）</p>			
実績数	委員数	備考	
3回	8名各部委員	当初計画3回/年	

会議：委員会名		コンプライアンス委員会	
主旨／目的			
<p>外房施設内での法令順守と社会的正義に関する監視を行い、職員の意識の高揚を図る。</p>			
協議実績			
<p>*実例に基づく対策を検証協議。（個別ケース整理） *コンプライアンス重視に向けた取組みを職員間で共有。</p>			
実績数	委員数	備考	
2回	4名各部主任	施設長・各部主任（主任会議同時開催）	

会議：委員会名	施設建設検討委員会	
主旨／目的		
<p>外房施設の大規模模様替工事及び施設内の工事箇所を検証と施設増床事業の早期完成と職員意見を重視した施設づくりを行う。</p>		
協議実績		
<p>＊施設内工事に於ける問題点の確認。(アンケート調査実施☆新規) ＊増床事業に関する要望確認。(アンケート調査実施☆新規)</p>		
実績数	委員数	備考
2回	6名各部委員	職員アンケート実施2回

《各部・各班別会議》

委員会や会議の組織改革の一つとして、従来から実施していた会議を委員制から身近な部・班単位とし、朝・夕の職務引継ぎの際に連携して実施し、機能性や迅速な対応を図れる会議・委員会として取組み実践する。

会議：委員会名	部・班会議	
主旨／目的		
<p>総務部・介護部・在宅部の3部門が、それぞれ問題や課題に則した会議を実施し、具体的な事案に添った整理や対応を協議することにより部内の連携を図ると共に多職種に於ける専門班会議を行い迅速な問題解決に着手する。</p>		
協議実績		
<p>＊必要に応じて各部主任・リーダーが招集し、問題の解決実施。 ＊コンパクトな班の会議により多数の職員の協議参加。</p>		
実績数	委員数	備考
12回：随時	各部	当日出勤者

会議：委員会名	ターミナルケア委員会（介護部・在宅部）	
主旨／目的		
<p>お客様の終焉の場である“看取り”を厳粛にかつ適正に実施するための課題やご家族への対応を協議検証する。</p>		
協議実績		
<p>＊「看取り期」の利用者の状況確認。(個別整理) ＊「新型コロナウイルス感染遺体の取扱い協議」 ＊「移乗支援」「移動支援」に係る介護ポット試行。(☆新規)</p>		
実績数	委員数	備考
3回	8名	当初計画3回／年

会議：委員会名	ケアプラン会議（介護部ひがし班.にし班・在宅部）	
主旨／目的		
お客様の状況にあわせたケアプランをより具体的に精査すると共に介護現場との確認・連携を強化するため現状に則した会議を実施する。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> * 個別のお客様に則した介護ケアの実践に、多職種による会議実施。 * お客様のご家族連携を深める為、ご家族同席実施。 * 窓越し面会に伴うお客様事前通知を実施。 * コロナワクチン接種同意等を実施。 		
実績数	委員数	備考
28回	各部対応	当初計画3回/月

会議：委員会名	身体拘束実施者評価委員会（介護部・在宅部）	
主旨／目的		
身体拘束廃止に向けた検討（身体拘束廃止委員会）だけでなく、個々のお客様における状況の精査検証を実施した。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> * 身体拘束廃止委員会（リーダー会議）での問題点や課題の整理実施。 * 個別実例に対する対処や確認を職員相互で協議。 		
実績数	委員数	備考
12回	各部対応	ケアプラン会議同時実施

会議：委員会名	職員全体会議/職員互助会	
主旨／目的		
<p>年度初めの式典として本年度の事業計画及び基本方針について全職員を対象に実施する。</p> <p>職員間の連携を図るため互助会による職員互助を実施する。</p>		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> * 事業計画並びに各セクションの基本方針を施設長及び各部主任から説明。 * 職員互助会の要綱改正。（職員間のコミュニケーションを図り、相互扶助精神は施設運営の要） * 会議終了後に辞令交付式実施。 		
実績数	委員数	備考
1回	職員全体	当初計画1回/年。非常勤含/職員辞令。理事長出席

会議：委員会名	入所前ケアカンファレンス検討委員会	
主旨／目的		
新規に入所されるお客様が、外房で安心して、快適に過ごせるように、新規入所のお客様の情報整理と確認を職員間で共有し、安全で具体的な介護ケアの充実を図る。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> *多職種による連携強化に意見交換を実施。 *個別事例に基づく介護ケアを様々な角度から検証協議。 *身体拘束やコンプライアンスを重視した取組みを職員間共有。 		
実績数	委員数	備考
3回	8名各部委員	当初計画3回/年（新規入所者毎に実施）

《講習会の実施》

施設のお客様が重度化するなかで、施設の安全・安心を提供する観点から、全職員が緊急時における対応を備えることを目的に救急法や火災訓練などを実施した。

○救急講習会（夷隅郡市広域市町村圏消防御宿分署）

*新型コロナウイルス感染対策により中止

講習会名	実績	職員参加者数
(1) 普通救命講習 I ・心肺蘇生法 （アンビュー使用） ・AED （自動対外式除細動器） ・止血法	・0回 （当初計画1回/3年）	・0人 未実施
(2) 救急講習会 ・心肺蘇生法 （アンビュー使用） ・AED （自動対外式除細動器）	・0回 7・9・11・1月実施 （当初計画1回/年）	未実施

○防災訓練（夷隅郡市広域市町村圏消防御宿分署指導立会）

訓練名	実績	職員参加者数
防災避難訓練 （夜間・昼間・地震津波）	・3回 7・10・12月実施 （当初計画3回/1年）	・30名

《緊急対策ディフェンスチーム》

想定外の気象変動や新型のウイルス感染から、施設を利用されるお客様を守るために、職員間緊急連絡網と共に実践チームを編成し、安全な施設体制を構築する。

○新型コロナウイルス感染対策班

*クラスター発生時においては、長期に渡ることから日程を調整し、チーム実践を図る。

感染対策班	A チーム	B チーム	C チーム
感染対策本部	産業医. 施設長. 総務主任		
チームリーダー	看護主任	在宅主任	看護主任
看護職員	リーダー	サブリーダー	看護職員
介護職員	副主任	サブリーダー	リーダー
待機介護職員	サブリーダー		
	介護職員		
	介護職員		
連絡係 (状況報告)	リーダー		
	〃		
	サブリーダー		

○防災対策班

*地震・津波・暴風雨等の発生時においては、施設を取り巻く環境や状況が刻々と変化し、早急な防災対策を必要とすることから、対策チームを編成し、お客様を守るための実務にあたる。

防災対策班	A チーム	B チーム
防災対策本部	施設長.	
チームリーダー	サブリーダー	サブリーダー
介護職員	介護職員	主任
	看護職員	サブリーダー

*職種や職名にこだわらず、夜間想定により近隣職員を中心とした即効性主体のチーム編成とした。